

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32131	スポーツिंगシティまつやま推進事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	2
42211	社会体育振興事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	3
42211	市民スポーツ活動活性化事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	4
44212	ふるさと館管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	5
44212	市民会館管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	6
44212	市民会館改修事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	7
42213	総合コミュニティセンター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	8
42213	総合コミュニティセンター建物改修事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	9
42213	野外活動センター管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	10
42213	スポーツセンター管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	11
42213	中島B&G海洋センター事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	12
42213	体育施設管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	13
42213	中央公園管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	14
42213	野球歴史資料館維持管理事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	15
42213	中央公園改修整備事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	16
42221	スポーツ推進委員協議会運営事業	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	17
44211	松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	18
44211	文化スポーツ振興事業補助金	坂の上の雲まちづくり部	スポーツिंगシティ推進課	19

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889	
部長等名	家串 正治	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	鴻上 哲史	担当	岡野 真梨子	二宮 遥

1. 事業概要【Plan】

事業名	スポーティングシティまつやま推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32131								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	選ばれる都市づくり							
主な取組	スポーツによる地域活性化の推進		根拠法令	松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	スポーツ支援の促進							
目的・背景	地域再生の一環として、「『坂の上の雲』のまち再生計画」の目標に掲げる観光交流人口500万人から600万人への拡大に向け、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化など、「スポーツで「ひと」、「まち」を元気にする!」という目的を掲げ、平成17年度から(財)地域総合整備財団の「地域再生マネージャー事業」を活用しスタートした。							
対象・内容	東京ヤクルトスワローズの公式戦及び秋季キャンプの継続誘致を行う。 地域に密着したプロスポーツ(愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス)に関する情報発信及び集客支援を行う。 スポーツ大会・合宿等開催助成金を活用した、スポーツコンベンション誘致を図る。 大会や合宿誘致に向けたスポーツ情報サイトの運営管理を行う。 台北市との友好交流協定を基にしたスポーツ交流の推進を行う。 全国規模のスポーツ大会や合宿の運営協力及び誘致を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費		
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	各種事業への負担金		36,251千円		
予算(千円)	事業費計	115,620	85,551	66,079				スポーツ大会・合宿等開催助成金		3,647千円	
	国費・県費	0	11,650	0					イベント企画等委託料		3,255千円
	市債	0	0	0							
	その他	4,680	10,220	220							
一般財源	110,940	63,681	65,859								
決算(千円)	事業費計	59,493	53,560			主な取組内容【R4】	・プロ野球オールスターゲーム等、全国規模のスポーツ大会合宿の協力及び誘致 ・大会等主催者への助成金による誘致 ・東京ヤクルトスワローズ公式戦及び秋季キャンプの開催 ・地元プロスポーツへの活動支援				
	国費・県費	11,650	11,691								
	市債	0	0								
	その他	7,735	11,334								
	一般財源	40,108	30,535								
人役	正規職員	6.0	4.0	3.8		特記事項					
	その他	1.0	0.9	0.9							
	合計	7.0	4.9	4.7							

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	スポーツ大会・合宿等開催助成金誘致件数	目標	38	40	40	40	新型コロナウイルスの影響により、大会・合宿の開催中止や規模縮小となったため。	
		実績	9	17				
		単年で増	件	達成率	23.7%	42.5%		
成果指標	プロスポーツの観客数	目標	154,000	155,000	155,000	155,000	新型コロナウイルスの影響による試合数の減少や入場規制等のため。	
		実績	74,653	108,164				
		単年で増	人	達成率	48.5%	69.8%		
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウイルスの影響により活動指標・成果指標ともに目標は未達成であるが、昨年比で実績は増加しており、行動制限の緩和等により、今後も更なる増加が見込めるため。						
課題	スポーツ関係団体と連携し、スポーツに関する情報発信や、魅力的なイベントの実施等、再び市民にスポーツを身近に感じてもらうための取組みが必要である。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民や大会等主催者のニーズに合わせ、スポーツ活動の活性化に寄与する施策に取り組む。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツिंगシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226	
部長等名	家串 正治	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	鴻上 哲史	担当	白石 杏樹	宇都宮 大地

1. 事業概要【Plan】

事業名	社会体育振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42211							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		○	○	○	○	
施策	地域スポーツの活性化		○	○	○	○	
主な取組	地域スポーツ活動の推進	根拠法令	スポーツ基本法、松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	市民スポーツ活動の活性化						
目的・背景	<p>【目的】スポーツの振興・普及を図るために各種大会に参加し、様々な支援を行い、スポーツでより多くの市民が笑顔になることを目的とする。</p> <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの笑顔が増えるよう、平成24年度より、スポーツで優秀な成績を収めた選手や指導者を対象に「まつやまスポーツ笑顔大賞」を創設。 ・平成17年に旧中島町との合併に伴い、旧中島町が開催していた「トリアスロン中島大会」の開催・運営を引き継いだことにより、大会運営に参画。 ・既存の大会としてあった「愛媛マラソン」を、平成22年の第48回大会から、市民マラソン大会として開催するにあたり、主催者として大会運営に参画。 						
対象・内容	<p>【対象】</p> <p>広告料:社会人野球クラブチーム(松山フェニックス)</p> <p>負担金交付先:愛媛マラソン実行委員会、トリアスロン中島大会実行委員会、松山市女子野球後援会</p> <p>補助金交付先:全国大会に出場する小中学生</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が取り組む各種大会の名義後援等を行う。 ・スポーツ功労者に対して顕彰を行う。 ・女子野球後援会、愛媛マラソンやトリアスロン中島大会開催について負担金等の支援を行う。 						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	全国高校総体実行委員会負担金	愛媛マラソン開催負担金	32,920
予算(千円)	事業費計	31,987	79,699	26,499					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	3,500					
	一般財源	31,987	79,699	22,999					
決算(千円)	事業費計	22,391	53,876			主な取組内容【R4】	市民が取り組む各種大会の後援等を行った。	スポーツ功労者に対して顕彰を行った。	大規模なスポーツ大会に対して必要経費補助等を行った。
	国費・県費	0	450						
	市債	0	0						
	その他	0	6,617						
	一般財源	22,391	46,809						
人役	正規職員	4.8	3.0	3.3		特記事項			
	その他	0.8	1.9	1.8					
	合計	5.6	4.9	5.1					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	愛媛マラソン抽選エントリー申込者数	目標	22,500	22,500	22,500	22,500	新型コロナウイルスの影響により、多くのランナーがエントリーを見送ったと考えられる。		
		実績	16,141	13,740					
	現状維持	人	達成率	72	61				
成果指標	トリアスロン中島大会申込者数	目標	625	625	625	625	新型コロナウイルスの影響により、開催延期となったため。		
		実績	0	0					
	現状維持	人	達成率	0	0				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルスの影響により活動指標・成果指標ともに目標は未達成であるが、行動制限の緩和等により、多くの事業が感染対策を講じた上で実施できた。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、開催中止・延期となっていた各種大会の参加者を、コロナ以前の水準までに呼び戻すための取り組みが必要である。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各種の取り組みにより、市民のスポーツへの振興・普及が図られているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツिंगシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6889	
部長等名	家串 正治	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	鴻上 哲史	担当	遠藤 雄	高橋 祥和

1.事業概要【Plan】

事業名	市民スポーツ活動活性化事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42211			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】			○	-	○	-	
政策	多彩な人材を育む							
施策	地域スポーツの活性化		根拠法令	松山市スポーツ推進計画				
主な取組	地域スポーツ活動の推進							
取組みの柱	市民スポーツ活動の活性化							
目的・背景	スポーツを通じ、市民の健康保持、健康増進及び公民館相互の親睦・交流を図るため、「松山市民体育祭実行委員会」を設立し、昭和55年から市民体育祭を運営している。また、広く市民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚させることによって、市民の健康増進と体力の向上を図り、市民生活を明るく豊かにするため、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」を設立し、平成25年度から市民のスポーツ振興を積極的に支援している。							
対象・内容	「松山市民体育祭実行委員会」に負担金を支出し、市民体育祭を開催する。 松山市長旗杯大会を開催している各種団体に対して、「松山市長旗杯大会開催支援実行委員会」が継続して大会が開催できるよう支援を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費		
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	市民体育祭開催負担金		546		
予算(千円)	事業費計	4,663	4,510	4,218				報償費(役員・審判謝礼、トロフィー・景品)		381	
	国費・県費								会場使用料		111
	市債										
	その他										
	一般財源	4,663	4,510	4,218							
決算(千円)	事業費計	1,082	1,081			主な取組内容【R4】	松山市長旗杯大会へ開催支援を行った。また、公民館対抗スポーツ大会として、ソフトボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、バタンク大会の3大会を開催した。				
	国費・県費										
	市債										
	その他										
	一般財源	1,082	1,081								
人役	正規職員	1.1	1.0	1.0		特記事項	新型コロナウイルスの影響により中止となった大会があったため。				
	その他	0.0	0.0	0.0							
	合計	1.1	1.0	1.0							

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	市長旗杯スポーツ大会の開催数	目標	40	40	40	40	新型コロナウイルスの影響により中止となった大会があった。	
		実績	11	21				
	単年で増	件	達成率	27.5%	52.5%			
成果指標	公民館対抗スポーツ大会の参加者数	目標	2,600	2,600	2,600	2,600	公民館対抗スポーツ大会のうち、バレーボールと市民体育祭が新型コロナウイルスの影響により開催できなかったため。	
		実績	715	920				
	現状維持	人	達成率	27.5%	35.4%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウイルスの影響により各種大会が開催できず活動指標・成果指標ともに目標は未達成であるが、行動規制の緩和等により、増加する見込みがあるため。						
課題	市長旗杯は、種目団体等への情報提供等を行い、大会数の増加を図る取り組みが必要である。 公民館対抗のスポーツ大会は新型コロナウイルス感染症の影響で、開催中止となっていた各種大会の再開、参加者をコロナ以前の水準までに呼び戻すための取り組みが必要である。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各種の取り組みにより、市民のスポーツへの振興・普及が図られているため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	永徳 佑理	内原 大智

1.事業概要【Plan】

事業名	ふるさと館管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
44212								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(実額プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む			-	-	-	-	
施策	文化芸術の振興と活用							
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援		根拠法令	松山市北条ふるさと館条例、松山市北条ふるさと館条例施行規則、松山市文化芸術振興計画				
取組みの柱	文化芸術活動の環境整備							
目的・背景	北条ふるさと館は、歴史民俗資料・美術品の展示、歴史文化等各種講座を実施して、市民文化の振興を図ることを目的とした施設である。施設の管理運営は、民間の能力を活用しつつ住民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とした指定管理者制度により行う。							
対象・内容	北条ふるさと館は、令和4年度から令和8年度の5年間の予定で、ふるさと北条ファンづくり応援団が指定管理者として管理・運営を行っている。指定管理者による美術展示室や歴史民俗資料展示室での展示、講演会・研修会等が開催できる会議室等の提供及び市民の作品発表の場としての展示室等の貸出をはじめ、歴史文化等が学習できる講座を行っている。また、建築物等施設や機材設備対象・事業内容の耐用年数により予測される不具合に対し、計画的に改修を行う「予防保全」と、予期せぬ故障が起こった場合改修等を行う「事後保全」により施設の維持を行っている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	北条ふるさと館指定管理料		34,455
予算(千円)	事業費計	37,951	44,763	39,890					
	国費・県費	0	5,564	0					
	市債	0	0	0					
	その他	2,005	2,005	2,005					
	一般財源	35,946	37,194	37,885					
決算(千円)	事業費計	38,088	37,515			主な取組内容【R4】	・指定管理者による施設の維持管理費、各種歴史文化等講座や自主事業の実施。 ・突発的な不具合に対応するための修繕工事の実施。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	2,195	2,868						
	一般財源	35,893	34,647						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数	目標	302	300	303	303	予定通り開館することができた。		
		実績	302	300					
	単年で増	日	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	北条ふるさと館年間使用料収入	目標	2,170	1,895	1,940	-	利用者数増加に伴い使用料も増加し、目標を達成することができた。		
		実績	1,699	2,400					
	単年で増	千円	達成率	78.3%	126.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	コロナ前の利用者数には及ばないが、少しずつ回復傾向にある。							
課題	コロナ禍以前の利用者数や使用料収入まで回復していないため、引き続き新規利用者の確保など利用者の増加に努める必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツシティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	林 賢司	伊藤 慎弥

1.事業概要【Plan】

事業名	市民会館管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
44212								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む			○	-	-	-	
施策	文化芸術の振興と活用							
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援		根拠法令	松山市民会館条例、松山市民会館条例施行規則、松山市北条市民会館条例、松山市北条市民会館条例施行規則				
取組みの柱	文化芸術活動の環境整備							
目的・背景	<p>松山及び北条市民会館は、本市の文化拠点であることから、適正な管理運営により、市民が文化芸術を鑑賞する場、練習・発表する場を提供することを目的とする。</p> <p>また、松山市民会館は、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることを目的とした指定管理者制度により、施設の管理運営を行う。</p>							
対象・内容	<p>・松山市民会館については、平成18年度から指定管理者制度を導入しており、第4期指定管理期間(平成31年度～令和5年度)は、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っている。</p> <p>・北条市民会館については、受付等は北条支所が、その他の光熱水費、燃料費、音響照明等管理運営については、スポーツシティ推進課が担当し管理運営を行っている。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	207,612	215,719	232,870		主な経費 (千円) 【R4 決算】	松山市民会館指定管理料		182,027	
	国費・県費	0	5,564	0				北条市民会館空調設備保守点検外委託料		4,319
	市債	0	0	0						
	その他	56,473	56,452	56,452						
	一般財源	151,139	153,703	176,418						
決算 (千円)	事業費計	183,921	191,330			主な取組内容 【R4】	・松山市民会館は、指定管理者制度により管理運営を行った。 ・北条市民会館は、北条支所が窓口業務を、文化・ことば課がその他の管理運営を行った。			
	国費・県費	4,532	4,210							
	市債	0	0							
	その他	63,870	81,475							
	一般財源	115,519	105,645							
人役	正規職員	0.3	0.4	0.9		特記事項				
	その他			0.9						
	合計	0.3	0.4	1.8						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	開館日数	目標	312	310	314	314	予定通り開館することができた。	
		実績	312	310				
	単年で増	日	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	松山市民会館年間使用料収入	目標	93,625	94,375	95,125	-	新型コロナウイルス感染症の影響で未達成。	
		実績	60,323	77,102				
	単年で増	千円	達成率	64.4%	81.7%			
事業評価	評価	その他						
	理由	感染症対策の徹底や、リピーター及び新規利用者確保の働きかけにより令和4年度は前年度比で松山市民会館の利用者数や使用料収入が増加した。しかし、コロナ禍以前の利用者数や使用料収入まで回復していない。						
課題	コロナ禍以前の利用者数や使用料収入まで回復していないため、引き続き新規利用者の確保など利用者の増加に努める必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6956	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	林 賢司	伊藤 慎弥

1.事業概要【Plan】

事業名	市民会館改修事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
44212								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む			-	-	-	-	
施策	文化芸術の振興と活用							
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援		根拠法令	松山市民会館条例、松山市民会館条例施行規則、松山市北条市民会館条例、松山市北条市民会館条例施行規則				
取組みの柱	文化芸術活動の環境整備							
目的・背景	文化活動の拠点として、松山市民会館は、昭和40年に供用開始。北条市民会館は、昭和55年に供用開始。							
対象・内容	・松山市民会館及び北条市民会館の建物や設備の耐用年数や兆候などあらかじめ予測される不具合に対し、計画的に改修を行う「予防保全」と、突発の故障・不具合について改修を行う「事後保全」により、施設の維持保全を行っている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文化振興費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】				
予算(千円)	事業費計	65,703	18,576	15,140			松山市民会館電気室主真空遮断器ほか更新工事	2,932		
	国費・県費	0	0	0			松山市民会館大ホール屋上屋根棟修繕工事	990		
	市債	0	0	0			松山市民会館幹線及び1階端末インターネット環境新設工事	795		
	その他		0	0						
	一般財源	65,703	18,576	15,140						
決算(千円)	事業費計	54,720	8,019			主な取組内容【R4】	予防保全及び事後保全として、松山市民会館、北条市民会館の設備改修工事を行う。			
	国費・県費	0					○主な工事			
	市債	0					松山市民会館			
	その他	0					・電気設備改修工事			
	一般財源	54,720	8,019							
人役	正規職員	0.6	0.9	1.0		特記事項				
	その他			0.2						
	合計	0.6	0.9	1.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	松山市民会館工事件数	目標	-	-	2	2	-	
		実績	-	-				
	現状維持	日	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	その他						
	理由	目標値の設定がないため、評価しない。						
課題	松山市民会館は築58年を迎え、老朽化した施設であり、施設の維持保全のため、計画的に予防保全を図る必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	伊藤 慎弥	永徳 佑理

1.事業概要【Plan】

事業名	総合コミュニティセンター管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
42213								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			○	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化		根拠法令	松山市総合コミュニティセンター条例、松山市総合コミュニティセンター条例施行規則				
主な取組	地域スポーツ活動の推進							
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	松山市総合コミュニティセンターは市のスポーツ・レクリエーション・文化振興・生涯学習の活動中核拠点である。同センターの管理・運営を指定管理により行い、教育文化の振興や市民の健康増進、市民福祉の高揚に寄与する。							
対象・内容	令和元年度から令和6年3月31日までの5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として、管理・運営を行っている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	総合コミュニティセンター費		
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
予算 (千円)	事業費計	631,954	662,750	729,000		主な経費 (千円) 【R4 決算】	委託料(指定管理料)		600,436		
	国費・県費	3,123	2,994	0				備品購入費		2,426	
	市債	0	0	0					総合コミュニティセンタープール 空調給気ダクト補修工事		1,089
	その他	164,100	164,100	162,600							
	一般財源	464,731	495,656	566,400							
決算 (千円)	事業費計	568,490	604,156			主な取組 内容 【R4】	(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として管理・運営を委託				
	国費・県費	1,655	441								
	市債	0	0								
	その他	130,199	169,031								
	一般財源	436,636	434,684								
人役	正規職員	0.6	0.6	0.8		特記 事項					
	その他	0.0	0.0	0.0							
	合計	0.6	0.6	0.8							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	開館日数	目標	319	318	320	320	目標通り開館日数を確保することができた。	
		実績	313	318				
	現状維持	日	達成率	98.1%	100.0%			
成果 指標	使用料収入	目標	199,221	199,505	199,792	199,792	新型コロナウイルス感染症の影響	
		実績	126,119	163,760				
	現状維持	千円	達成率	63.3%	82.1%			
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	一部施設の利用制限した状態での営業や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標を達成することができなかった。						
課題	利用者数の回復のために、魅力ある施設運営に努める。			今後の 方向性	一部見直し	左記の 理由	魅力ある施設運営のために、実施事業等について適宜見直しを行う。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	伊藤 慎弥	永徳 佑理

1.事業概要【Plan】

事業名	総合コミュニティセンター建物改修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
42213							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		-	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化						
主な取組	地域スポーツ活動の推進	根拠法令	松山市総合コミュニティセンター条例、松山市総合コミュニティセンター条例施行規則、松山市スポーツ施設適正化計画				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	建設後約40年を迎え、老朽化が進んでいる施設を、適宜改修や更新により、市民が安全で安心して活用できる施設として維持・管理を行う。昭和59年11月に体育館・温水プール・駐車場が供用開始したのを皮切りに、昭和62年4月に全館オープンした。						
対象・内容	利用者が安心して施設を利用できるように、老朽化が進む施設の計画的な改修を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	総合コミュニティセンター費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山市総合コミュニティセンター防火シャッター改修工事		25,791
予算(千円)	事業費計	143,110	99,292	137,968					
	国費・県費								
	市債	63,900	65,400	27,400					
	その他								
	一般財源	79,210	33,892	110,568					
決算(千円)	事業費計	101,406	49,941			主な取組内容【R4】	・プラザ棟外壁改修その他工事、防火シャッター改修工事を行った。		
	国費・県費	0							
	市債	50,300	21,700						
	その他	0							
	一般財源	51,106	28,241						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.6		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.2					
	合計	0.4	0.4	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数		目標	-	-	2	-	-	
			実績	-	-	-	-		
	現状維持	件	達成率	-	-	-	-		
			目標	-	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-		
			達成率	-	-	-	-		
事業評価	評価	その他							
	理由	令和4年度は目標値の設定がないため評価しない							
課題	施設の機能を維持するために、改修・修繕を行うとともに、安全で快適な施設を提供するために、計画的に取り組む。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・シティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	和田 麻衣	永徳 佑理

1.事業概要【Plan】

事業名	42213 野外活動センター管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			○	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化		根拠法令	松山市野外活動センター条例、松山市野外活動センター条例施行規則				
主な取組	地域スポーツ活動の推進							
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	野外活動及びスポーツ施設の拠点として、スポーツ・レクリエーションや豊かな自然に触れ合うことのできる場を提供し、市民の健康維持・増進に寄与するため、平成元年7月のキャンプゾーンの一部のオープンを皮切りに順次整備を進め、平成10年4月にレクリエーション施設として全面オープンした。レインボーハイランドとして親しまれ、管理運営を(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が行っている。							
対象・内容	<対象> スクールゾーン、キャンプゾーン、アドベンチャーゾーンの3つのゾーンで構成されており、子どもから大人まで楽しめる野外活動センター施設となっている。 <事業内容> 平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	野外活動センター費		
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料(指定管理料)	178,885			
予算(千円)	事業費計	266,520	265,135	303,224				野 外 活 動 セ ン タ ー 井 水 処 理 設 備 改 修 工 事	20,900		
	国費・県費					野 外 活 動 セ ン タ ー 体 育 館 外 壁 改 修 そ の 他 工 事	20,696				
	市債	17,700	17,700	28,400							
	その他	27,959	27,959	27,359							
	一般財源	220,861	219,476	247,465							
決算(千円)	事業費計	189,818	234,224			主な取組内容【R4】	・指定管理者制度により管理運営を行った。 ・施設の改修工事を行った。				
	国費・県費	695	692								
	市債		13,900								
	その他	18,905	23,428								
	一般財源	170,218	196,204								
人役	正規職員	0.6	1.0	0.7		特記事項					
	その他	0.3		0.1							
	合計	0.9	1.0	0.8							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数	目標	319	321	320	320	概ね予定どおり営業することができた。		
		実績	322	323					
	現状維持	日	達成率	100.9%	100.6%				
成果指標	使用料収入	目標	33,200	35,080	37,000	37,000	新型コロナウイルス感染症の影響で目標値には達しなかったが、前年度よりも収入増となった。		
		実績	17,757	22,724					
	単年で増	千円	達成率	53.5%	64.8%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	ウィズコロナにより市民活動が少しずつ再開するに伴い利用者が増加し、前年度よりも使用料収入が増加したが、目標値には達しなかったため。							
課題	利用者が安全な環境で安心して施設を利用できるよう、定期的な草刈りなどのメンテナンスのほか、老朽化に伴う施設整備などを計画的に進め、魅力ある施設につなげていく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツシティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	和田 麻衣	永徳 佑理

1.事業概要【Plan】

事業名	スポーツセンター管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
42213								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			○	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化		根拠法令	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例施行規則				
主な取組	地域スポーツ活動の推進							
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	松山市北部地域のスポーツ拠点として、市民にスポーツ活動・レクリエーション活動を行える場所を提供する。平成17年1月に旧北条市との合併により、旧北条スポーツセンター及び北条体育館が松山市の管理施設となった。現在のスポーツセンターは、平成19年7月に球技場の供用開始を皮切りに順次供用し、平成23年4月には体育館を供用開始して第1期整備は完了した。次いで第2期整備として平成28年4月に野球場を供用開始した。							
対象・内容	<対象> 北条スポーツセンター及び北条体育館 <事業内容> 平成31年度から5年間の予定で、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理・運営を行っている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料(指定管理料)		98,463
予算(千円)	事業費計	150,938	150,458	109,045					
	国費・県費		0						
	市債								
	その他	17,000	17,000	16,800					
	一般財源	133,938	133,458	92,245		主な取組内容【R4】	北条スポーツセンターフットボール場人工芝改修工事	24,641	
決算(千円)	事業費計	103,222	142,337						
	国費・県費	476	385						
	市債								
	その他	14,471	17,693						
	一般財源	88,275	124,259			北条スポーツセンター野球場A 法面吹付工事	15,782		
人役	正規職員	0.5	1.1	0.7				・指定管理者制度により管理運営を行った。 ・施設の改修工事を行った。	
	その他	0.2		0.1					
	合計	0.7	1.1	0.8					
				特記事項					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	開館日数	目標	359	359	359	359	施設工事の影響により、数日間利用ができない期間があったが、概ね予定どおり開館することができた。	
		実績	359	349				
成果指標	現状維持	日	達成率	100%	97.2%			
		使用料収入	目標	17,580	17,730	17,910	17,910	新型コロナウイルス感染症の影響で目標値には達しなかったが、前年度よりも収入増となった。
	実績	13,177	16,086					
単年で増	千円	達成率	75.0%	90.7%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	年間を通じてウィズコロナによるスポーツの活性化が見られ、前年度よりも使用人数増加に伴い使用料収入も増加したが、目標値には達しなかったため。						
課題	市民の多種多様なスポーツニーズに対応できるよう、適正な規模で必要な整備を進めていく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツシティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	997-2211	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	菊池 豪	新藤 成人

1.事業概要【Plan】

事業名	中島B&G海洋センター事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
42213								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			-	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化		根拠法令	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例施行規則				
主な取組	地域スポーツ活動の推進							
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	<p>【目的】中島B&G海洋センターは、体育館(アリーナ・トレーニングルーム・ミーティングルーム)と、プールを保有するスポーツレクリエーションの総合施設であり、市民の健康増進に繋がる様々なイベントやスポーツ教室を年間通じて開設している。また、海洋スポーツ等を通じた青少年の健全育成を促進するため、海洋クラブ活動を年間20回程度実施している。さらに、夏季には、海に親しむ機会を作るため、海洋性レクリエーション指導員の派遣を行っている。</p> <p>【背景】昭和59年開設(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団により建設され、昭和62年に中島町に無償譲渡された。平成17年に松山市と合併したため、『松山市中島B&G海洋センター』として運営中。</p>							
対象・内容	<p>【対象】体育施設内のアリーナ等の貸出や健康増進に繋がるイベント・教室は、主に中島に住む住民が対象である。海洋クラブは、中島島民も含む市内の約30名の小中学生が対象である。海洋性レクリエーションを中心とした体験イベントは主に市内の小中学校が主である。また、B&G財団との連携による事業では、海洋クラブ等の市内の小中学生が対象。</p> <p>【内容】体育施設は、体育館やプール、テニスコートなどの施設管理と貸出業務。海洋クラブや海洋性レクリエーションは、主にカヌーやヨットなどを指導。B&G財団との連携事業は、企画及び運営。</p>							

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	教育費	項	保健施設費	目	体育施設費	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	10,069	43,991	12,651		主な経費 (千円) 【R4 決算】	中島B&G海洋センター 電気設備改修工事		19,906	
	国費・県費	10,069	43,991	12,651				中島B&G海洋センター 夜間管理業務委託料		1,983
	市債	0	0	0				光熱水費		2,020
	その他	0	0	0						
	一般財源	0	0	0						
決算 (千円)	事業費計	16,030	29,145			主な取組 内容 【R4】	・体育施設の貸館業務(プールを含む) ・海洋性レクリエーション(カヌー等の体験イベント)の実施 ・スポーツ教室等の開催			
	国費・県費	8,015								
	市債	0								
	その他	217	230							
	一般財源	7,798	28,915							
人役	正規職員	3.0	3.0	3.0		特記 事項				
	その他	0.0	0.0	0.0						
	合計	3.0	3.0	3.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	施設利用者人数	目標	6,000	7,000	7,500	8,000	新型コロナウイルス感染拡大が令和3年度に比ベ少し治まったことから利用者が徐々に回復した。		
		実績	6,940	8,260					
	現状維持	人	達成率	115.7%	118.0%				
成果 指標	海洋クラブ参加者数	目標	400	400	400	400	新型コロナウイルス感染拡大が令和3年度に比ベ少し治まったことから参加者が徐々に回復した。		
		実績	368	611					
	現状維持	人	達成率	92.0%	152.8%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	コロナウイルスの影響により満足できる数値ではなかったものの徐々に回復したため。							
課題	主に島民が施設利用者であるため、人口減少や高齢化による利用者の確保が年々困難となっている。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツシティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	永徳 佑理	内原 大智

1.事業概要【Plan】

事業名	42213 体育施設管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			○	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化			-				
主な取組	地域スポーツ活動の推進		根拠法令	松山市体育施設条例、松山市体育施設条例施行規則				
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	〈目的〉 体育施設を円滑に管理し、充実したスポーツ施設を市民に提供する。 〈背景〉 用者が目的に応じ安心して気軽にスポーツを楽しむほか、市民のレクリエーション活動や憩いの場として活用するために順次開設し、維持管理を行っている。							
対象・内容	・別府市民運動広場、拓川市民運動広場、空港東第四公園テニスコート、湯月公園テニスコート、重信川ソフトボール広場：令和元年度から5年間の予定で、奥アンツーカ株式会社が指定管理者として管理・運営を行っている。 ・河野別府公園体育施設(市民グラウンド、サブグラウンド、テニスコート)：ふるさと北条ファンづくり応援団へ委託 ・北条公園(北橋運動広場)：令和4年度から令和8年度の5年間の予定で、ふるさと北条ファンづくり応援団が指定管理者として管理・運営を行っている。							

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	体育施設費		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度							
予算 (千円)	事業費計	40,653	41,092	41,668		主な経費 (千円) 【R4 決算】	委託料(指定管理料)		37,227		
	国費・県費	0	0	0				備品購入費		732	
	市債	0	0	0							
	その他	16,300	16,863	16,200					空港東第四公園テニスコート観客席テント屋根改修工事		902
	一般財源	24,353	24,229	25,468							
決算 (千円)	事業費計	40,301	40,476			主な取組内容 【R4】	別府第一市民運動広場等について奥アンツーカ株式会社、河野別府グラウンド等についてふるさと北条ファンづくり応援団を指定管理者として管理・運営を委託				
	国費・県費	0	0								
	市債	0	0								
	その他	16,047	16,622								
	一般財源	24,254	23,854								
人役	正規職員	1.1	0.9	0.9		特記事項					
	その他	0.0	0.2	0.2							
	合計	1.1	1.1	1.1							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	開館日数	目標	359	359	359	359	予定通り開館することができ、良好である。	
		実績	359	359				
	現状維持	日	達成率	100%	100%			
成果指標	使用料収入	目標	16,493	16,580	16,802	16,802	新型コロナウイルスによる影響と屋外施設であることから天候の影響を受けやすく、使用料収入の目標が達成できなかった。	
		実績	15,661	15,836				
	現状維持	千円	達成率	95.0%	95.5%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	一部施設の利用制限した状態での営業や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標を達成することができなかった。						
課題	地域スポーツ活動の場として活用されているので、今後も安心して利用できる施設管理に努める必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	内原 大智	和田 麻衣

1.事業概要【Plan】

事業名	中央公園管理運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
42213								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			○	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化		根拠法令	松山中央公園体育施設条例、松山中央公園体育施設施行規則				
主な取組	地域スポーツ活動の推進							
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	スポーツ施設の拠点、スポーツ公園として、スポーツ・レクリエーションの場を提供して、市民の健康維持、増進に寄与する。指定管理者制度の導入に伴い、平成18年から指定管理を導入した。							
対象・内容	令和元年から5年間、指定管理者として松山中央公園の管理・運営を行うため、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団に指定管理料を支出している。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料(指定管理料)	602,551		
予算(千円)	事業費計	625,212	676,810	766,999				・(公財)松山市文化・スポーツ振興財団へ指定管理者として管理・運営を委託	坊っちゃんスタジアム3塁側室内ブルベン人工芝改修工事	8,359
	国費・県費					坊っちゃんスタジアム一塁側ブルベンエアコン取替工事	1,300			
	市債									
	その他	125,600	136,660	135,760						
	一般財源	499,612	540,150	631,239						
決算(千円)	事業費計	594,158	642,584			主な取組内容【R4】				
	国費・県費	609	2,293							
	市債	0								
	その他	111,300	142,383							
	一般財源	482,249	497,908							
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記事項				
	その他									
	合計	0.6	0.6	0.6						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	開館日数	目標	318	320	322	322	目標通り開館することができた。	
		実績	318	320				
	現状維持	日	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	使用料収入	目標	129500	131,400	133,400	133,400	プロ野球オールスターゲームの開催や、コロナの感染の縮小等が考えられる。	
		実績	104050	134,830				
	単年で増	千円	達成率	80.3%	102.6%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	新型コロナウイルス感染症の対策が緩和されたことや、プロ野球オールスターゲームの開催などの影響により、昨年度から使用料収入が増加した。						
課題	感染症対策が緩和され、利用が回復傾向にあるため、利用を増加させる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の適切な運営管理を行い、市民の円滑な利用に繋がっている。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツ・文化施設推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	内原 大智	和田 麻衣

1.事業概要【Plan】

事業名	野球歴史資料館維持管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
42213								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			-	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化		根拠法令					
主な取組	地域スポーツ活動の推進							
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用							
目的・背景	坊っちゃんスタジアムの施設内に、正岡子規が伝えたとされる野球の歴史資料館を開館しており、アマチュア野球を中心に貴重な資料等の展示を行っている。野球歴史資料館維持管理事業は、市民はもとより、松山を訪れる野球ファンに来館しれいただき、愛媛の野球史に興味をもってもらえるよう、展示物を整備することを目的とする。平成14年のオールスターを契機に、愛媛の野球に関して顕彰を行い、後世に引き継いでいきたいという機運が高まったことが背景にある。							
対象・内容	松山市文化・スポーツ振興財団に野球歴史資料館の維持管理を委託するため、委託料を支出している。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	7,267	7,267	6,859		主な経費 (千円) 【R4 決算】	委託料(野球歴史資料館維持管理運営業務委託)		6,103	
	国費・県費						備品購入費		449	
	市債									
	その他	100	100	100						
	一般財源	7,167	7,167	6,759						
決算 (千円)	事業費計	6,478	6,552			主な取組 内容 【R4】	・松山市文化スポーツ振興財団へ野球歴史資料館の維持管理を委託			
	国費・県費									
	市債	0								
	その他	30	89							
	一般財源	6,448	6,463							
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項				
	その他									
	合計	0.1	0.1	0.1						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	開館日数	目標	97	153	170	170	予定通り開館することができた。	
		実績	97	153				
	現状維持	日	達成率	100%	100%			
成果 指標	入館者数	目標	-	-	12,000	12,000	-	
		実績	3404	10,802				
	単年で増	人	達成率	-	-			
事業 評価	評価	その他						
	理由	令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、臨時休館等があり、開館日数が少なくなっているが、令和4年度は、予定通り開館することができ、令和3年度より開館日数を増加させることができた。						
課題	コロナにより減少した入館者数を回復させる。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	愛媛の野球を後世に引き継いでいくにあたっては必要不可欠な施設であると考えられるため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ・文化施設担当	連絡先	948-6598	
部長等名	家串 正治	課等長名	有光 一成	リーダー	大野 精毅	担当	内原 大智	和田 麻衣

1.事業概要【Plan】

事業名	中央公園改修整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
42213		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		○	-	-	-	
政策	多彩な人材を育む	根拠法令	松山中央公園体育施設条例、松山中央公園体育施設施行規則、松山市スポーツ施設適正化計画				
施策	地域スポーツの活性化						
主な取組	地域スポーツ活動の推進						
取組みの柱	快適なスポーツ施設の提供と活用						
目的・背景	多くの市民等にスポーツ・レクリエーションの場を提供している中央公園体育施設の、安全で快適な施設提供を目的とする。各施設とも経年劣化による摩耗・劣化が見受けられ、体育施設等の機能を維持するために、改修・修繕を行う。						
対象・内容	松山中央公園各施設の状況を確認しながら、随時改修工事を行っている。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	中央公園管理費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	坊っちゃんスタジアム外壁改修その他工事設計業務委託	目	4,000
予算(千円)	事業費計	636,858	37,557	269,291					
	国費・県費	224,957							
	市債	231,000	12,700	229,400					
	その他	24,000							
	一般財源	156,901	24,857	39,891					
決算(千円)	事業費計	636,858	22,150			特記事項		目	
	国費・県費	224,957							
	市債	231,000	3,300						
	その他	24,000							
	一般財源	156,901	18,850						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.7				目	
	その他								
	合計	0.3	0.3	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数		目標	-	-	2	-		
			実績	-	-				
	現状維持	件	達成率	-	-				
成果指標			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	その他							
	理由	令和4年度は目標値の設定がないため評価しない							
課題	大規模な改修工事について、利用者に影響が出ない時期等を見据えて取り組みが必要である。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各施設の機能を維持するために、計画的な改修が必要である。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ振興担当	連絡先	948-6226	
部長等名	家串 正治	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	鴻上 哲史	担当	高橋 祥和	白石 杏樹

1.事業概要【Plan】

事業名	スポーツ推進委員協議会運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42221								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む			-	-	-	-	
施策	地域スポーツの活性化							
主な取組	指導・支援体制の充実		根拠法令	スポーツ基本法、松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	指導者の育成・強化とボランティアの活動支援							
目的・背景	スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員を委嘱し、市民体育祭や各種スポーツ大会の運営や、地域住民に対し、スポーツに関する指導・助言を行うことで、地域のスポーツ振興に努める。							
対象・内容	各地区の公民館長から推薦された方(定員150名)を、スポーツ推進委員として本市が委嘱している。その活動経費として、松山市スポーツ推進委員協議会に負担金を支出している。協議会では、各種市民スポーツ大会を運営するほかニュースポーツやグラウンド・ゴルフ、ペタンク等の研修会を実施している。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	保健体育費	目	社会体育総務費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	6,805	6,806	6,842		主な経費 (千円) 【R4 決算】	委員報酬	5,445千円		
	国費・県費		10	10			協議会運営負担金	628千円		
	市債						表彰に係る報償費	61千円		
	その他									
	一般財源	6,805	6,796	6,832						
決算 (千円)	事業費計	5,703	6,233			主な取組 内容 【R4】	各公民館長からの推薦により、引き続き各地区にスポーツ推進委員を配置し、スポーツの指導、助言等を行った。			
	国費・県費									
	市債									
	その他		11							
	一般財源	5,703	6,222							
人役	正規職員	0.6	0.9	0.9		特記 事項				
	その他		0.1	0.1						
	合計	0.6	1.0	1.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	スポーツ推進委員協議会が参与するスポーツ大会等の数	目標	15	15	15	15	新型コロナウイルスの影響により、大会等の開催中止や規模縮小となったため。	
		実績	7	12				
	現状維持	件	達成率	46.7%	80.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウィルの影響により目標は未達成であるが、昨年比で実績は増加しており、行動制限の緩和等もされたことから今後も更なる増加が見込めるため。						
課題	新型コロナウィルの影響で、感染対策を徹底した協議会や大会運営を行うため、松山市スポーツ推進委員協議会総会を书面開催した。今後についても、協議会の運営に支障をきたさないよう対応する必要性あり。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	市民のスポーツに関する意識の高揚や健康増進につながるため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーツインテグリティ推進課	担当G	スポーツ振興	連絡先	948-6226	
部長等名	家串 正治	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	鴻上 哲史	担当	宇都宮 大地	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市文化・スポーツ振興財団事業振興補助金		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
44211								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む			-	-	-	-	
施策	文化芸術の振興と活用							
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援		根拠法令	松山市補助金等交付規則、松山市文化芸術振興計画、松山市スポーツ推進計画				
取組みの柱	文化芸術に触れる機会の充実							
目的・背景	松山市施設管理公社と松山市生涯学習振興財団を統合し、文化及びスポーツ等の振興を目的とする松山市文化・スポーツ振興財団が平成22年に設立されたことを機に、松山市生涯学習振興財団に対する補助金を引き継いだ。松山市文化・スポーツ振興財団に対し、人件費・管理運営費を補助金として支出し、財団運営の安定を図り、本市の文化・スポーツの総合的な振興を図ることを目的としている。							
対象・内容	松山市文化・スポーツ振興財団に対し、人件費・管理運営費を補助金として支出し、財団運営の安定を図っている。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	66,444	96,879	103,643		主な経費 (千円) 【R4 決算】	松山市文化・スポーツ振興財団への補助金	85,435	
	国費・県費	1,088	1,088						
	市債								
	その他								
	一般財源	65,356	95,791	103,643					
決算 (千円)	事業費計	60,733	85,435			主な取組 内容 【R4】	松山市文化・スポーツ振興財団に人件費・管理運営費を補助し、文化・スポーツ活動の活性化を推進した。		
	国費・県費	444	870						
	市債								
	その他								
	一般財源	60,289	84,565						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	令和4年度に松山市スポーツ協会運営補助金交付事業の一部を統合。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	実施事業数	目標	24	47	46	46	新型コロナウイルスの影響により中止となった事業があった。	
		実績	15	41				
	現状維持	件	達成率	62.5%	87.2%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	新型コロナウイルスの影響により3密対策が徹底できない事業は中止とした。						
課題	新型コロナウイルスの影響により文化・スポーツ活動の機会が減少していたが、5類へ移行されたことから活性化に向けた取組が必要。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	文化・スポーツを総合的に振興し、魅力あるまちづくりを推進するため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	スポーティングシティ推進課	担当G	スポーツ振興	連絡先	948-6226
部長等名	家串 正治	課等長名	丹生谷 泰生	リーダー	鴻上 哲史	担当	宇都宮 大地

1. 事業概要【Plan】

事業名	文化スポーツ振興事業補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金
44211						
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む		-	-	-	-
施策	文化芸術の振興と活用					
主な取組	文化芸術活動の継承・推進及び支援	根拠法令	松山市補助金等交付規則、松山市文化芸術振興計画、松山市スポーツ推進計画			
取組みの柱	文化芸術に触れる機会の充実					
目的・背景	松山市施設管理公社と松山市生涯学習振興財団を統合し、文化及びスポーツ等の振興を目的とする松山市文化・スポーツ振興財団が平成22年に設立されたことを機に、松山市生涯学習振興財団に対する補助金を引き継いだ。松山市文化・スポーツ振興財団が実施する文化・スポーツ振興事業に対して補助金を支出し、本市の文化・スポーツの総合的な振興を図ることを目的としている。					
対象・内容	松山市文化・スポーツ振興財団に対し、財団が実施する事業について補助金を支出し支援を行っている。					

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山市文化・スポーツ振興財団への補助金		15,447
予算(千円)	事業費計	5,718	25,937	24,285					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,718	25,937	24,285					
決算(千円)	事業費計	2,524	15,447			主な取組内容【R4】	キッズジョブまつやま、カルスポフェスタ、トップアスリート招へい事業、スポーツ少年団、各種目団体育成事業等を実施し文化・スポーツ活動の活性化を推進した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,524	15,447						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記事項	新型コロナウイルスの影響により中止や縮小となった事業等があったため。令和4年度に松山市スポーツ協会運営補助金交付事業の一部を統合。		
	その他								
	合計	0.3	0.3	0.3					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助事業数		目標	8	28	26	26	新型コロナウイルスの影響により中止となった事業があったため。	
			実績	6	27				
	現状維持	件	達成率	75.0%	96.4%				
成果指標	スポーツ審判員等の養成人数		目標	1,150	1,250	1,250	1,250	新型コロナウイルスの影響により養成講習会等への参加者が減少したため。	
			実績	926	953				
	累計で増	人	達成率	80.5%	76.2%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルスの影響により3密対策が徹底できない事業等は中止や縮小とした。							
課題	新型コロナウイルスの影響により文化・スポーツ活動の機会が減少していたが、5類へ移行されたことから活性化に向けた取組が必要。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	文化・スポーツを総合的に振興し、魅力あるまちづくりを推進するため。		